

## 親子で楽しむおもしろ講座

## 冬だって楽しい！！生き物さがし～モグラのトンネル調べもあるよ～

渋谷孝子(流山市)

日 時：2026年1月17日(土) 10:00～12:00 天候：快晴で風なし

場 所：21世紀の森と広場 みどりの里&amp;つどいの広場(松戸市)

参加者：17名(大人10名 子ども7名)

担当指導員：宮崎、渋谷、三嶋 参加指導員：長谷川、鈴木と

主担当の怪我で急遽宮崎さんがリーダーとなり、スタッフの私が班を持つことになりました。個人で請負った講座と違って、こんな時に代役が何とか実施することができるのが、会で請け負っている利点のひとつだと思います。

朝の下見でフレッシュなモグラ塚が多い場所を探してコースを決め、時間差でスタートしました。ナノハナの葉の上に花アブが日向ぼっこをしていました。まだ蜜の朝食には寒すぎたようです。次に里の茶屋裏でカマキリの卵しょうを探し、その形から何かマキリの卵かを調べました。みんなの意見でチョウセンカマキリと決まりました。樹名板の裏は人気の場所、テントウムシ、蜘蛛、カメムシ、ミノムシなどが隠れていました。集団越冬中のヨコヅナサシガメ幼虫もじっくり観察しました。

クヌギの木の下に小さな丸い球が地面にびっしりと敷き詰められるほどたくさん落ちていました。ドングリではありません、いったい何でしょう？ 枝の枯れ葉にも丸い球を発見！ どうも虫こぶ(クヌギハケタマフシ)のようです。みんなで割ってみると中に白い小さな幼虫がいました。蛹のようなものが入っていたもの、何も見つからない空洞のものもありました。「丸いお家は丈夫で温かそうだね」「春になったら成虫になって卵を産むのかも」と。しかし後日調べてみると「虫こぶから11月頃に成虫(単性世代の雌)が羽化し、冬芽に産卵し、春には雄花にハナカイメンフシと言うピンク色でフワフワの虫こぶを作る」とありました。11月にはすでに成虫になって虫こぶから出て枝先の花芽に産卵していたようです。勉強不足を反省しました。ただ、虫こぶの中に幼虫が見つかったものも多数あったのは、なぜなのでしょう・・・？ 自然は不思議だらけです。

小川さんの指導で東葛でも始まった「モグラのトンネル調べ」は、「モグラさんゴメンね、トンネル修理してね！」と言いながらも子どもも大人も熱中していました。最後に宮崎さん手作りの「モグラクイズ」で生態を学び、無事終了となりました。

配布資料の送付ミスやクイズのネタばらしなど失敗もありましたが、宮崎さんの元気で上手な進行で無事終了。寒い季節ですが、参加の皆さんには楽しんで頂けたようでした。



モグラ塚にササ棒を突っ込んでトンネル探しは楽しい！ 手書きのクイズでモグラの生活を楽しく学ぶ